

いろいろな花

小川未明

青空文庫

さまざまの草くさが、いろいろな運命うんめいをもつてこの世よに生まれてきました。それは、ちよ
うど人間にんげんの身みの上うえと変わりがなかったのです。

広い野原ひらのの中に、紫色むらさきいろのすみれの花はなが咲さきかけましたときは、まだ山やまの端はに雪ゆきが白しろ
くかかっていました。春はるといつても、ほんの名なばかりであつて、どこを見みても冬ふゆ枯がれのま
まの景色けしきでありました。

すみれは、小鳥ことりがあらゆる林はやしの中で、さびしそうにないのをききました。すみれ
は、おりおり寒さむい風かぜに吹ふかれて、小ちいさな体からだが凍こごえるようでありましたが、一日いちにち一日いちにちと、そ
れでも雲くもの色いろが、だんだん明あかるくなつて、その雲間くもまからもれる日ひの光ひかりが野のの上うえを暖あたかそう
に照てらすのを見みますと、うれしい気持きもちちがしました。

すみれは、毎朝まいあさ、太陽たいようが上のぼるころから、日ひの暮くれるころまで、そのいい小鳥ことりのなき
声こゑをききました。

「どんな鳥とりだろうか、どうか見みたいものだ。」と、すみれは思おもいました。

けれど、すみれは、ついにその鳥とりの姿すがたを見みずして、いつしか散ちる日ひがきたのであります。
そのとき、ちよūdかたわらに生はえていた、ぼけの花はなが咲さきかけていました。ぼけの花はなは、

すみれが独り言をしてさびしく散つてゆく、はかない影を見たのであります。

ぼけの花は、真紅にみごとに咲きました。そして日の光に照らされて、それは美しくつたのであります。

ある朝、ぼけの枝に、きれいな小鳥が飛んできて、いい声でなきました。そのとき、ぼけの花は、その小鳥に向かつて、

「ああ、なんといい声なんです。あなたの声に、どんなに、すみれさんは憧れていましたか。どうか一目あなたの姿を見たいものだといっていましたが、かわいそうに、二日ばかり前にさびしく散つてしまいました。」と、ぼけの花は、小鳥に向かつていいました。

小鳥は、くびをかしげて聞いていましたが、

「それは、私でない。こちようのことはありませんか。私みたいな醜い姿を見たとして、なんで目を楽しませることがあるんですか。」と、小鳥は答えた。

「こちようの姿は、そんなにきれいなんですか。あなたの姿よりも、もつときれいなんですか。」と、ぼけの花は驚いてききました。

「私はいいい声で唄をうたいますが、こちようは黙っています。そのかわり私よりも幾倍

となくきれいなんです。」と、小鳥は答えて、やがてどこにか飛び去ってしまいました。

ぼけの花は、そのときから一目こちようを見たいものだど、その姿に憧れました。けれど、まだ野原の上は寒くて、弱いこちようは飛んでいませんでした。

ある風の強い日の暮れ方に、そのぼけの花は音もなく散って、土に帰らなければなりませんでした。ついに、ぼけの花は、こちようを見ずにしまったのです。

それから、幾日かたつと、野の上は暖かで、そこには、いろいろな花が咲き誇っていました。はねの美しいこちようは、黄色く炎の燃えるように咲き誇ったたんぼぼの花の上にと止まっていました。

ほかのいろいろの多くの花は、みんなそのたんぼぼの花をうらやましく思っていたのです。その時分には、いつか小鳥の声をきいて、その姿を見たいといっていたすみれの花も、また、小鳥からこちようの姿をきいて、一目見たいといっていたぼけの花も、朽ちて土となつて、まったくその影をとどめなかつたのでありました。

たんぼぼの花は、こちようと楽しく話をしていました。それは静かな、いい日でありました。たちまち、カッポ、カッポという地に響く音が聞こえました。

「なんだろう。」と、たんぼぼの花はいました。

「なにか、怖ろしいものが、こちらへやってくるようだ。」と、こちようはいいました。「どうかこちようさん、私のそばにいてください。私は怖ろしくてしかたがない。」と、たんぽぽの花は震えながらいました。

「私は、こうしてはいられませんよ。」と、こちようはいつて、花の上から飛びたちました。

そのとき、カツポ、カツポの音は近づきました。百姓にひかれて、大きな馬がその路を通つたのです。そして、路傍に咲いているたんぽぽの花は馬に踏まれて砕かれてしまいました。

野原の上は静かになりました。あくる日もあくる日もいい天気で、もう馬は通らなかつた。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 2」講談社

1976（昭和51）年12月10日第1刷

1982（昭和57）年9月10日第7刷

※表題は底本では、「いろいろな花《はな》」となっています。

入力：ぷろぼの青空工作員チーム入力班

校正：富田倫生

2012年5月23日作成

2012年9月27日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

いろいろな花

小川未明

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>